馘首から火の手擧る

雪中に市民の困惑甚し

東京市電各線續々運轉を休止す　各所の會合と慌しき警戒振

東京市電氣局にては前日來怠業の狀最も顯著なりし巣鴨車庫從業員約六百名を二十八日朝馘首せり其影響は忽ち他の各車庫にも及び前日最も柔順にして却て他の怠業に對抗的に勉勵し居たる青山車庫も動搖し二十八日午前九時全部業を休み車庫の前には『一時發車の見込之無く候』との掲示をなすに至れり

此の日前夜來の雪にて市中泥濘市民の當惑甚し、之に代るに院線電車のみは各車滿員にて各停車場とも乘客雲集し居れり(東京電話)

憲兵警官等倶樂部を包圍す

馘られた從業員の會合

光景悽愴を極む　內部は何者も絕對に入場せしめず

憲兵、警官等は同倶樂部を包圍して警戒し他の車庫と聯絡を取り總罷業等の擧に出でざるやう監視しつゝあり

其筋にては萬一を慮り大手町の憲兵分隊より分隊長以下約卅名の憲兵、巣鴨署よりは正私服巡査七十名午前五時頃より出張警戒に勉めたれば何等不穩の狀なく從業員の主なる者は巣鴨町交通勞働組合幹事西町倉郎方に集合し協議會を開き十時頃より巣鴨倶樂部にて馘首者小林多吉以下五百七十名の大會を催す事となり幹事等は早くより集合し善後策を考究中なり支部長芳賀勇吉氏を始め何れも「電氣局横暴」と叫び

社會の批評に待たん

倶樂部內會議の光景

暴行等は斷じて爲さず

前記巣鴨倶樂部に於ける會合は午前十一時に至り警視廳の私服警官三名を入れざれば解散を命ぜんとする氣配なるより遂に之を入場せしめたるが場內にては七十名の幹部次ぎ〳〵に熱辯を揮ひ『車輛の故障は專門家の認むる所之を怠業と認めて高壓手段を執るは不都合なり』と云ふ議論方に起る、斯くて佐々木、谷出、白沼外七名の實行委員を舉げ當局の不當を飽まで鳴らし輿論の公平なる批判に竢つ事とし暴行等は斷じて爲さず飽までも模範的運動をとるべき事を申合せ午後一時散會せり(東京電話)

右巣鴨線は降雪の積むに委せ居れるが警視廳は一臺の電車に警官七十名を載せ車掌監督をして運轉せしめ雪を蹴りて巣鴨倶樂部に出張警戒に任じ一方警部等數名は午前十一時自動車にて巣鴨車庫に至り故障車を檢査し責任者に就て原因を調査せり

憤慨して談判

馘首問題と電氣當局

運轉休止漸次增加す

巣鴨車庫從業員馘首の高壓手段に憤慨せる彼等は其の不當を責めんが爲め二十八日午前十一時半交通勞働組合の青山代表の岩淵、鈴木、佐々木、福島、島上外十五名電氣局を訪ね益田電車課長、千頭運轉掛長と會見したるが從業員側は吾々の五箇條の要求解決を求むるよりも先づ差當つて同僚の六百名を馘首するに至つた理由如何と詰め寄り益田課長は

あれより外に電氣局としては採るべき方法が無い、一〻最善の方法であると考へた結果餘儀なから已むを得ぬことだ

と云ふ代表者側は

それを取消しさへすれば青山も新宿も直に運轉するやうに方法を講ずるがと即答を求める

益田課長

それは出來ない來月五日迄に復職を申し出でた者には復職を聽き届ける彼の五箇條の要求問題に對する回答は二三時間後には印刷にして配布する給與、時間、共濟會の三項は既に委員會に於て決定し直に市參事會に廻して協議中であるからそれ迄待つて呉れ

とて馘首の問題に對し毅然として態度を明確にせざれば一同は復職が出來なければ聽て間もなく全線の運轉がピタリと停ま

本所と青山

二十六日來乘客の投石暴行等を口實に限度運轉休止を爲したる本所車庫は其後漸次不穩の形勢を示し二十八日朝六時頃迄に漸く半數の出勤を見たるのみ、又青山線は當時勤務中の職首の報はりてより大騷ぎとなり八時半後は同線一帶の運轉を中止し七百名の從業員は協議の末委員を選びて電氣局に急派せり

二十五日、三田車庫、本所、麴町、新宿等は依然運轉し居れるも頗る不安の狀態にあり

院線巣鴨驛混亂

乘客雪崩を打つて押掛く

るかも知れませぬよと捨科白を殘して去れり一面車庫の狀況は洲崎線は九時前後に運轉休止、大手町柳島線も最早絕望の

市電巣鴨線運轉中止の結果院線巣鴨驛の混雜は甚しく午前八時東京驛行乘客千數百名に上り(平生は二三百名)上野驛行一千名(平生は五百名)に達し小さき待合室は大雪崩を打ち驛員が必死の整理も甲斐なく互に罵り合ふ、その內警官かけつけ一圈宛に區切り入場せしむ、東京驛よりも驛員多數應援に來り雜然紛然として山の手線始まりての大混亂なり

朝鮮海峽を横斷して

所澤から京城へ

有川少將が總指揮官となり　サ式ソ式各二機で

三月八日に擧行

(陸軍省發表)

朝鮮海峽を越すべき遠距離飛行は軍事上の見地より極めて重要なるものにして平時に於て斯くの如き練習を行ふべきは甚だ緊要なり之が爲め昨年秋期佛國航空團の各務ケ原の練習終了するや先づ之を實行せんとする計畫ありしも時恰も伊國飛行團の羅馬東京間飛行の企圖あり近く我國に飛來するが如き狀況にありしが故に諸種の準備を冠了しありしにも拘らず我が飛行實施は該飛行團を朝鮮に歡迎する目的を以て其の時期迄延引する事となれり而來伊國飛行機團の來着は意外に遲延して今日に至れるも最近の狀報に依れば其の數機は既に本國を出發し東洋の天に現はるゝも亦遠きにあらざるが如し、茲に於て既定の計畫を實施し之を朝鮮に迎ふる事とせり、元より我飛行機の朝鮮に到着する時期に於て伊國飛行團の全部が該地に到着するや否や未だ不明なりと雖も右演習は更に延期するを許さず、何となれば本演習に參加すべき教官は最も重要なる位地にありて四月以降實施せらるべき諸般の教育上絕對に其の固有の職務より放るゝを許されざればなり、故に伊國飛行團の來着こ否とに關せず我が遠距離飛行は之を實施するものとす、本飛行は海上を通過するものなるを以て海上の警戒並に救護に關しては之を海軍に依頼したるに海軍は好意を以て之に應じ數隻の驅逐艦を海峽の各點に配置して之を救助する筈なり本演習は航空本部長井上少將監督の下に有川少將を此の演習の直接指揮官とし大要左記の計畫に依り實施す、但し海峽通過の如きは天候に左右せらるゝ事大なるを以て其の實行の時日多少前後することなしとせず

一、參加すべき飛行機　サ式二機、ソ式一及二型二機

二、飛行徑路

往路　所澤京城間(千五百五十基)廣島(着陸)五百五十基大阪(着陸)三百基廣島(着陸)

サ式所澤七百五十基大邱(着陸)

三百基、京城、ソ式所澤四百五十基大阪(着陸)五百基、大邱(着陸)

五百基大邱(着陸)三百基京城

復路　サ式京城三百基大邱(着陸)八百基大阪(着陸)四百五十基所澤

ソ式往路の反對とす

三、操縱者　は追て定む

四、期日　往航所澤出發時日三月八日、京城到着時日三月九日

復航京城出發時日三月十八日所澤到着時日三月十九日

五、對島海峽には海軍より驅逐艇三隻を艦置せられ警戒す

操縱將校は八名

各着陸地勤務委員決定

陸軍の所澤京城間遠距離飛行の操縱將校は目下航空學校にて練習中の將校より八名を選拔する筈なるが伊庭、坂本兩大尉、阿部、喜早、小澤三中尉に對しては既に內命ありたるが如く近日發表さるべく又途中着陸場勤務委員並に統裁官は

▲總指揮官　有川少將▲補佐官　河田大佐、林少佐　▲所澤勤務委員　玉置中佐、中澤中尉▲大阪勤務委員　杉山中佐、森　番樹大尉▲廣島勤務委員　御原少佐　松岡中尉▲大邱勤務委員　益田中佐、喜早中尉▲京城勤務委員　櫻井少佐

之に下士卒職工を配し各着陸場には地方官憲に依頼し朝鮮海峽には五十基米毎に水雷艇を配置し海軍の警備ある筈なりと尚行惱みの狀態にある伊機が此の期間に飛行せる場合は全機を擧げて歡迎すべき準備をなせりと(所澤電話)

製鐵所復活

廿八日入所者二千餘名

脅迫されて止むなく雷同した　職工から長官へ陳情

八幡製鐵所にては主要工場より漸次作業開始の方針を執り罷工の意志なき職工のみを就職せしめ居れるが二十八日入所せるものは職工千五百四十九名、職夫三百五名、請負人夫三百八十五名合計二千二百三十九名となれり、二十八日朝に於ける作業開始の工場は熔鑛爐二基、第三工場、中央機關發電所各一部及販賣課に屬する物品運搬等にて鑛石運搬の高架車、構內鐵道の一部も四日ぶりにてそれ〴〵運轉を開始せり、尚ほ職工中には無期休業に悲觀し他に職を求むべく神戶方面に行きたる者もあるらしく、是等の內六名は白仁長官に宛て今回の罷業は全部職工の意志にあらず一部煽動者の爲に脅かされて雷同的になしたるに過ぎざれば非常に迷惑を感じ居れりとの意味の陳情的葉書を送り來れりと(八幡電話)

縷々として經過を述ぶ

中央館外三箇所の演說會

滿員の盛會と嚴重なる警戒

職工の罷業に依るものとし製方脫み合の結果は如何なる出來事を惹起するやも測り難し此間勞友會長代理加藤氏が棍棒にて脅迫されしが如き奴隷扱氏が短銃にて脅迫されし等は全く兩者の利害を異にするものなり然るに今日迄負傷者なかりしは職夫供給會社の岡本氏等の力に依るものなり我等は此際石野氏に仲裁を一任すべし云々(八幡電話)

中央館外三箇所に於ける演說會は何れも滿員にて多數の憲兵警官に衛られ先づ川島職夫協會長の司會にて開會し

我等は實行委員諸氏と共に再度の罷業以來當局者に交涉する所ありたるが今日迄滿足の結果を見るを得ず

石野氏が藤警察部長立會の上長官に會見し調停の勞を執るとの申出に對し實行委員は昨夜深更最後の要求案を提出する件を諮り長官を訪問する事となれり

要　求　案

一、作業開始を同一にする事

二、休業中の賃金を支給する事

三、休業日數は割增金に影響なき事

等にて諸君の同意と望む、讀いて友愛會木村鋭吉氏は經過報告をなし

我等が此席に起ち唯只管者んで居る所は或は諸君の不滿の點多々あるべきも此處に至りては餘儀なく友愛會としては

時間問題に關して十二時間勞働の撤廢を期し農相に會見したる際農相は時間短縮は長官の意志にて行し得るものなりと更に長官に迫りしに長官は自分の意志には不可能の事なりと答へしを以て此處に於て大いに憤慨せしが最近に至りて時間短縮は各官立工場の協議會に依らざるべからざる事を知る事を得たり而して砲兵工廠のみ來る四月より時間短縮を實行し得るは此協議會の成立以前に決定せしものたるを知れり此間當方に意志の疎通を缺き居りし爲め事件を紛糾せしめたるものなり

又工場閉鎖の結果として職工諸君は食糧其他の供給に支障なきも職夫諸君は一日休めば直に生活に影響するものなり

然も今回の罷業は職工諸君の要求に基くものにして職夫は只職工の犧牲を蒙り居るものにて諸君にすれば我等は罷業せるに職夫のみが入場して熔鑛爐其他の作業に從事するは心外なりとし之を阻止せしめんとするは尤もなるも職夫側にすれば只我等の生活を迫害するは

多數の職工は就業を希望す

尚ほ右四箇所に於ける演說會の結果多數職工が就業を希望するとの報告を得たれば二十八日午前十一時石野氏は藤警察部長、岡本消防組頭等と共に長官に會見せり其結果は直に市內各所に掲示する事となれり尚實行委員は今回の交涉を以て解散する事となれり(門司電話)

起訴と放還

製鐵所罷業事件に關し八幡署にて取調中なりし大鐘勞、加藤義郎、森重皆一、久藤勇雄、村上龍五郎、武內勝十等は二十八日起訴されたるが二十四日來引致されたる者二十一名に及べり中放還者十一名參考人として召喚取調べられたる者十三名に達し尚續々檢擧され居れり(八幡電話)

加藤氏等拘引

今回の製鐵所事件に關し最初より職工側の指揮者となり居たる當時勞友會長加藤勘十、友愛會理事藤岡文六兩氏は令狀を受け二十八日午前六時中央區友愛會支部より檢事の下へ拘引されたり(八幡電報)

解散と影響

諸會の解散に依り福岡縣に於ける鑛を蒙れるは原田、長尾間の鐵道敷設が一年遲延したると門司築港

株式後場手口

株式引跡氣配

建玉內容訂正